

2006 年度

科目名 総合演習 I	対象学科・学年 教育教職 1 回生	担当者 三宅 奎介
授業テーマ 現在の教育の問題点を広く理解し、課題の解決に向けての研究をすすめる。		
授業の概要と目標 今、社会は激しく変化している。教育も同様である。昨年、中教審答申が発表され、これからの教育政策の方向が明示された。21 世紀を生きる子どもたちにどのような教育をしなければならないか。その学校はいかにあるべきか。本演習では新しい時代の学校改革、カリキュラム改革について、未来に向かって主体的生きていく子どもたちを原点に多様な観点から調査・研究をすすめる。受講者は実践報告を分析したり、現場教師と話しあったりして学校の実態を把握し、問題解決のために各自がテーマを設定し、発表・討論しながら指導方法を研究する。		
評価方法 授業目的の到達度の判断として ①発表内容（50%）②討論への主体的参加および授業への姿勢（25%）③自己および相互評価（25%）を基準に総合的に決定する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 適宜、参考書籍を紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 授業のねらいと演習のすすめ方 求められる教員の資質、これからの教育のあり方を考える 2. 学力問題 「生きる力」とは、PISA 学力実態調査の結果はどうか 3. 総合的学習の時間① なぜ、今、総合学習か、中教審答申・学習指導要領の理解 4. 総合的学習の時間② 教科との関連 評価の仕方、キャリア教育、 5. これからの学校づくり 開かれた学校とは 学校改革とは 授業改革とは 6. 研究課題の設定 現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。 7. 課題解決の追求・研究① 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 8. 課題解決の追求・研究② 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 9. 課題解決の追求・研究③ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 10. 課題解決の追求・研究④ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 11. 研究報告会・評価会① 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 12. 研究報告会・評価会② 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 13. 研究報告会・評価会③ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 14. 研究報告会・評価会④ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 15. まとめと期末試験		